

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

38号
2021
1.29

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



第10回 新春を彩る

寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

○期間：1月10日(日)~1月31日(日)
○場所：北山門周辺 ~壁掛け型ハングバスケット&寄せ植え!

第29回 洋ラン展

○期間：1月29日(金)~2月11日(木)
○場所：観覧温室(特別展示室)
○内容：洋ラン約200鉢を展示(販売あり)

◆1/31(日)洋ラン展開連 講演会

植物園会館2階研修室 13:30~15:00
(当日会場受付 13:00~) ※定員：先着30名
「ランの花にみられる送粉について」講師：戸部園長

若手作家による希少植物作品展

~あしもとにゆらくvol.2~

○期間：1月30日(土)~2月7日(日) 10:00~16:00
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：若手作家による水彩画等、全国各地の希少植物が描かれた作品を展示

第9回 シャドーボックス作品&クラフト展

○期間：2月12日(金)~2月21日(日)
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：「植物」をテーマにシャドーボックスなど約40点を展示

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内!

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「園長と園内散歩」

2月28日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合：午後2時スタート!

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」 「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

「第16回 早春の草花展」

~春を感じる風の中で~

2月13日(土)~3月14日(日) 10:00~16:00

大芝生地 特設会場にて・・・

~寒さの残るこの季節・・

一足早く「春の景色」をお届けします!~

東洋蘭講演相談会

○日時：2月14日(日) 13:30~16:00 (受付13:00~)
○場所：植物園会館2階研修室
○内容：寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

京都新世代いけばな展2021

○期間：2月20日(土)~2月23日(火・祝)
○場所：くすのき並木
○内容：「#ハナノコキュウ 明日へのエナジー」をテーマに30流派の若手華道家54名の44作品を展示

バラ剪定講習会

○2月21日(日) 13:30~15:00 (受付13:00~)
「四季咲きバラの剪定について」植物園会館2階研修室
※講師：日本ばら会京都部会員
※ばら園で実技があります。

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
- 大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
- ※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」

2021. 1. 29
38号

⑫ ジャマイカポインセチア

トウダイグサ科。ジャマイカ、キューバ等のカリブ海沿岸原産。小花は6個程度の黄色くて丸い密腺と緑色の子房から構成されている。小花の根元の赤い花弁のような部分は苞葉で花粉媒介者を効率的に呼び寄せる役割を果たしている。

⑪ オオカメノキ(冬芽)

レンブクソウ科。北海道～九州、サハリンなどに分布。漢字で「大亀の木」と書き、葉の形が亀の甲羅に似ることから名が付いた。別名のムシカリ(虫狩)は、虫がこの葉を好むことから。冬芽の形がユニーク。ウサギ？ウルトラマン？それとも…

⑩ プレウロタリス・マルタエ

ラン科。南米コロンビア原産。プレウロタリス属は世界で約1100種あり熱帯アメリカのみに分布している。葉の付け根から花茎が伸びているので葉の中心部から花が咲いているように見える。マルタエはプレウロタリス属の中では大型の種。

⑨ スノードロップ

ヒガンバナ科。ヨーロッパ各地から西アジアまで広く分布。英名のスノードロップ(雪のしずくの意味)は花の色と形から。他にも、16～17世紀に人気のあった耳飾りに似ているなど、名前の由来は諸説ある。花言葉は「希望」や「慰め」。

① ロウバイ

ロウバイ科。中国原産。日本には江戸時代初期に渡来したとされる。ロウ細工のような質感の花弁を持った黄色の花は、とても上品で甘い香りがすることも特徴。属名のChimonanthusはギリシャ語で「冬の花」という意味。

② ニホンズイセン

ヒガンバナ科。地中海沿岸地域原産。名前にニホンとついているため日本固有の植物と思われがちだが、古くにペルシャから中国にもたらされ、それが日本に渡ってきたとされている。北陸地方の海岸沿いの一部では群生している。

③ クレマチス・ウロフィラ

キンポウゲ科。中国原産。冬に花をつける常緑のクレマチスで寒い季節にも花を咲かせてくれる。香りはほとんどない。ベル形のクリーム系白色の花を下向きに咲かせる。花弁はシルクのような質感がある。耐寒性が強い。

④ 壬生菜

アブラナ科。現在でも京都市、南丹市などで栽培されている。水菜の自然交雑でできたといわれ、葉には切れ込みがなく、細長くへらのような形をしているのが特徴。京都市内の壬生地区で多く栽培されていたことが名前の由来。

⑤ ロウヤガキ

カキノキ科。中国原産。カキノキの仲間で、秋から冬にかけてがく片が細長く羽根つきの羽根に似たような実を結ぶ。この実は小さく渋いため食用とはならないが、独特の形状と色味が面白く、観賞用として盆栽などによく利用される。

⑥ タチバナ

ミカン科。本州(伊豆半島以西)～琉球、台湾原産。別名ニッポンタチバナ。日本特産種であり、古来から知られた柑橘。実は酸っぱく薬用とされた。日本書紀など神話では不老長寿の木の実とされている。京都御所の右近の橘は本種。

⑧ ハボタン「紅くじゃく」

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。「紅くじゃく」は、旧ソ連のケールを元に改良された品種。

⑦ ケコンロンカ

アカネ科。中国南部から台湾に分布。長さ5cm程度の白い葉のように見えるものは、1枚のがく片。5枚あるうちの1枚だけが大きくなり白く色付いたもので、がく苞と呼ばれている。星形の花は1cm程度の大きさでオレンジ色がよく目立つ。

